

**製品名: ALIX ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe86531**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ICC/IF, FC, IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	-
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質を含む溶液で提供されます。受領日から12ヶ月間安定です。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ICC/IF 1:500-1:5000, FC 1:200-1:500, IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW:96 kDa; Observed MW:90-100 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	ALIX
別名	AIP1; ALIX; HP95; DRIP4; MCPH29
遺伝子 ID	10015, 18571, 501083
SwissProt ID	Q8WUM4, Q9WU78, Q9QZA2
免疫原	ヒト ALIX の組み換えタンパク質

**背景**

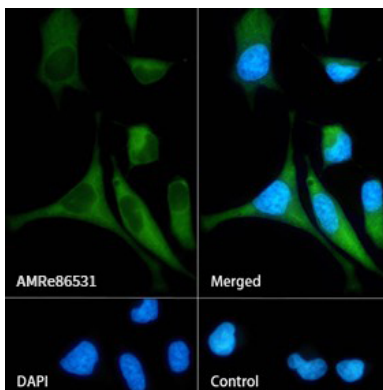
この遺伝子は、細胞質分裂の離解段階、管腔内エンドソーム小胞形成、そしてエンベロープウイルスの出芽において、ESCRT 経路内

で機能するタンパク質をコードしています。マウス細胞を用いた研究では、このタンパク質の過剰発現がアポトーシスを阻害することが示されています。さらに、この遺伝子産物は、アポトーシスに必要なタンパク質である PDCD6 遺伝子産物とカルシウム依存的に結合します。この遺伝子産物は、エンドサイトーシス中に膜の形状を制御するタンパク質であるエンドフィリンにも結合します。この遺伝子産物とエンドフィリンの過剰発現は細胞質の空胞化を引き起こし、これが細胞死に対する防御に部分的に関与している可能性があります。この遺伝子には、異なるアイソフォームをコードする複数の選択的スプライシング転写バリエーションがみついています。関連する偽遺伝子は 15 番染色体上に同定されています。[RefSeq 提供、2012 年 1 月]

## 研究分野

-

## 画像データ



ALIX ウサギモノクローナル抗体を使用して ALIX を標識した HeLa 細胞の免疫蛍光分析。